

王北通信

令和8年1月26日 第35号
<https://www.town.oji.nara.jp/kitagimukyo/communication/9787.htm>

毎年、9年生と行っている道徳科の授業。「山桜」という教材を使って、生きる喜びについて一緒に考えます。まさに私にとって、何より楽しく、そして嬉しい生きる喜びの時間となっています。

山桜

たこあげ、楽しいな (1年生)

1年生の生活科「むかしの遊び」では、けん玉、お手玉、こま、あやとりなど様々な遊びを楽しみます。先日は「たこあげ」を運動場で行いました。広い運動場を縦横無尽に走り回っていた1年生です。中には友達と交差して、糸がからまってしまった人たちも(^;) わりと風があった日でしたので、とても高く上がっていたたこもありました。楽しそうな笑顔が運動場中にあふれていました。



ベースボール型のボール運動を楽しんでいます (6年生)

高学年の体育では、ボール運動として「ゴール型」「ネット型」「ベースボール型」の3つの型の運動を行います。いわゆるサッカー、バレーボール、野球に類する運動で、今6年生ではベースボール型の運動を楽しんでいます。ベースボール型はボールが小さいので、慣れていない人は初めは戸惑ったことでしょう。攻守がはっきり分かれ、走塁や守備など、予想を立てて瞬間的に判断することが重要な運動で、仲間との作戦や声かけなどでより盛り上がります(^) 思い切り楽しんでください!



新春カルタ大会の練習 (6、7、8年生)

今週に新春カルタ大会を行います(^-) 昔から人々に親しまれてきた「小倉百人一首」。それを活用して行う競技カルタは、マンガや映画などに取り上げられたことから広く知られています。6~8年生が各学級のプライドをかけてカルタ大会で激突します。大会に向け、ルールの確認などを行うために先週、大体育館で練習を行いました。学年ごとに3位までの個人賞もあるようです。寒さを吹き飛ばす熱い大会を期待しています。



9年生との道徳授業 (1)

毎年、9年生と道徳の授業で一緒に考え合い、話し合ってきています。奈良県教育委員会発行の道徳教育郷土資料に「山桜」という教材があります。山奥で人知れず毎年自分の花を満開に咲かせては散る山桜をモチーフに、「生きる喜び」について考える教材です。以前の勤務先で、中学3年生に是非考えてもらいたい、進路選択を前に揺れ動く生徒へエールを送りたい、そう考えて書いたお話です。学校に戻って、義務教育学校の校長として勤務している4年前から、9年生の生徒と「山桜」を使って考える時間をもってきています。私にとってもまさに「生きる喜び」となっている時間です。

お話では、山桜と自分を重ね、自分の弱さを克服し逆境を乗り越えようとする主人公の姿を描いています。父が主人公へ伝えたい思いを、山桜が「自分らしくあるために、自分の花を咲かせる」という比喻表現に象徴し、このときに感じ考えたことが、今も「わたし(主人公)をずっと支えている」ということの意味を考えるようにしています。

よければご覧ください。【奈良県郷土資料「山桜」】

<https://www.pref.nara.jp/secure/43497/kyoudo7.pdf>

実際の授業では、グループで意見交換をしながら進めています。あまりしゃべらない人が友達に熱く考えを語る姿など、生徒たちにとっても新鮮で楽しい時間となっていました。みんな真剣に考えてくれたことが、授業の様子から、感想から、そして仲間とワークシートを読み合い互いに書き込んだコメントからも窺えました。卒業を控えた生徒たちと共に考え合った時間は、私にとって何より大きな幸せとなりました。エールを送るつもりが、どうも逆に送られたよう

です(^-^)

次回に生徒たちの感想をお伝えします。